

ベリな活用事例紹介

～「重さ」をはかって「長さ」に変換！電線の在庫管理にお役立ち～

今月はお客さまから、台はかりの便利な使い方を教えてもらいましたのでご紹介しまーす。

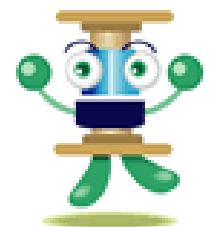
台はかりの機種は、重量指示計 KS-C8000-BM とマルチロードセル式 KM-D計重部です。



台はかりのひょう量は、150kg や 300kg が選ばれています。

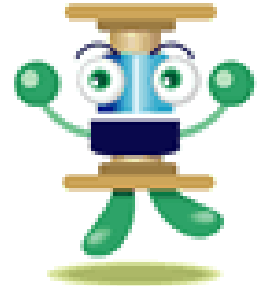


はかるモノは、ドラムに巻かれた電線です。



電線は、芯線に銅が使われることから高価であり、しっかりと在庫管理や入出庫されることが多いのさ。

また、工事に必要な所要量は長さ「m」で管理されるんだ。



このような場合に活躍するのが、インテリジェントな重量指示計、KS-C8000-BM じゃ。この機種は8種類の演算式を内蔵しておる。

乗算 / 除算 / 含有率 / 除去率 / 加算率 / 加算 / 減算 / 最低値

簡単な説明は次の通りじゃ。



演算種	意味合い
乗算	掛け算です。単価を掛けて料金を算出する場合などに使用します。
除算	割り算です。比重で割って、容積を算出する場合などに使います。
含有率	被覆電線を計量し、内部の銅線の重量を推計する場合などに使います。
除去率	古紙回収の水引きや、スクラップのダスト引きに使用します。一定率の水分や異物の割合を引いて査定します。
加算率	税率を掛けて税込金額を算出する場合に使用します。
加算	足し算です。正味量にある数値を足します。
減算	引き算です。正味量からある数値を引きます。
最低値	従量制によるごみ処分料において、10kg当たり100円であるが、50kgまでは一律500円とする場合の500円が最低値です。(30kgでも500円徴収)

このうち除算（割り算）を使えばよいのさ。

電線の重量値を、1 m当たりの重量で割れば、長さ（m）を求められるんだ。

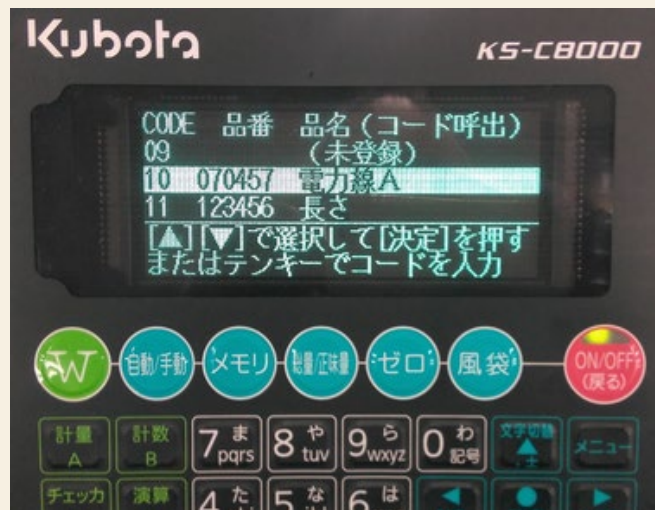


(計算例) $45.66\text{kg} \div 0.16\text{kg/m} = 285.4\text{m}$



うむ。電線の種類に応じて、m当たりの重量は変わるじゃろ。

最初から種類ごとにコード登録しておくど、あとはコードを呼び出すだけじゃな。



コード 10 に、電力線 A を登録する場合

また、あらかじめ分かっているドラムの重さは、プリセット風袋引きをしておけば、電線のみで正味量分かるのじゃ。



ドラムの重さ 10kg をプリセット風袋引きした場合

今後もベンリな使い方を教えてもらったら、このコーナーで紹介
しますね！

